

出張医学教育FD(松本市立病院)

【日 時】平成27年6月4日(木) 8:00~8:30

【場 所】松本市立病院

【参加人数】25名

【内 容】○信州大学の新しい臨床実習

・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について

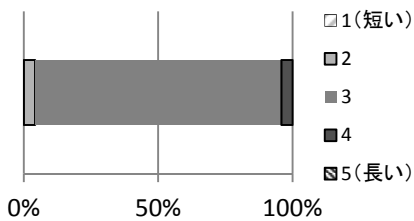
・学生が行うことのできる医行為について

・臨床実習の指導医

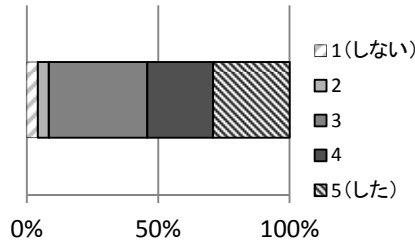
○学生の評価について

・ポートフォリオについて

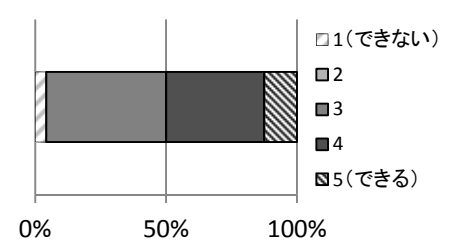
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
ショーケースポートフォリオの意義。(複数あり)	学習目標の達成度と評価の関係。	学生に教員の評価を見せずに実習を行っていくのは意味があるとおもったが、評価が悪くても例のように可になるのはどうかと思う。
評価についての方法。学生の評価の方法の変更。	到達目標は「ある意味」後期研修医レベルなので、学生実習でここまで到達できるのか。(目標はかなり漠然としているので、漠然で良いのか)	実習時間と国試合格率に相関はあるのでしょうか。
今までは出席していれば良かった、ということ。	学生の実習態度評価票の内容。	4月に学生を指導したが、指導目標等、間違っていなかったことを確認できた。
新しい評価法。	全体的にすべてわかり易かった。	学生を送り出す科目のにだけの講習にしてください。
学生の自己評価のみで成績が決まることなく、ということがわかりました。	内容はわかったが、学生が来ない科には必要ないのでは？	大学で学生がどのように育てられているのかが、わかってよかった。
Dを出しても良い。	ショーケースポートフォリオの実例を見たいです。	学生が大学でどの程度の知識・技術を学んできたかわかるように「臨床実習」ノートのようなもので自己チェックまたは、指導医チェックを事前にやってほしい。大学と病院の共通ノートのようなものを..。
従来の実習方法との相違。	学生のカルテ記載の意義。	地域全体で頑張りましょう。
学生教育の変更点が理解できた。		
目的と評価の方法。		
ショーケースポートフォリオと症例報告の違い。		